



みんなで取り組む

獣害対策

サル編

問合せ 産業振興課農業グループ ☎84-5082

ニホンザル(以下、サル)やイノシシ、シカなどによる獣害は、国や県、市、地域の獣害対策により全国的に減少しています。しかしながら、今まで被害がなかった地域で被害が発生したり、市街地に野生動物が現れたりするなど、被害地域は広がっています。

市街地で野生動物を見掛けても、農業被害が主であるため農業者だけの問題と思われがちですが、人馴れが進むと、家屋に侵入したり、人に近寄ったりするようになるほか、道路で車にぶつかるなど日常生活に支障も出てきます。獣害は、私たちの身近な問題であるという認識を一人ひとりが持ち、みんなで対策に取り組むことが大切です。

サルの特徴を知ろう ～ 生態や食べるものなど ～

生態について

- とても頭がよく、学習能力が高い動物
- 視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚は人間と変わらない
- 日の出から日没までの間に活動し、夜間は行動しない
- メスとその子どもを中心に、10～100頭ほどの群れで行動
- 野生のサルの寿命は20年前後
- オスの一部は、成長すると群れから離れて別の群れに入ったり、離れザルになったりする

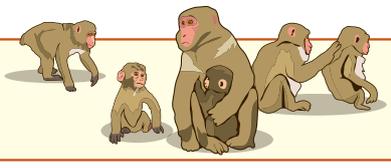
食べ物の好み

- 植物を中心とする雑食性で、主に、木の実や芽、種子、昆虫などを食べる
- イモ類、豆類、トウモロコシ、カボチャ、柿、栗などの鮮度が高いものを好む
- トウガラシ、シソ、コンニャクなどの辛味やアクが強いものが苦手

山にある食べ物と比べて、農地の野菜や果物がおいしく、容易に手に入ることを学ぶと、繰り返し田や畑に食べに現れます!

被害傾向

群れで行動するため、短時間でも大きな被害が出ます。また、野菜を一口かじっただけで捨て、次々に新しいものを食べる採食行動を取るため、被害がさらに大きくなります。



サルの餌付けは絶対にやめてください!

サルにエサを故意的に与えている目撃情報がありました。エサを与えることにより、人への警戒心がなくなります。また、人がエサを持っている認識を与えてしまうと、「エサをくれ」と寄ってくるようになる可能性があります。非常に危険ですので、やめてください。

◎間接的な餌付けにもご注意ください
バーベキューで余った食材やお墓参りのお供えを放置したり、野菜くずや生ごみを屋外に置いたりしておくと、サルが寄ってくる原因になります。



エサを与えていたと思われる痕跡(バナナやトマトなど)

市の獣害対策や補助制度

◆亀山市有害獣被害防止対策事業補助金

有害鳥獣等による農林地の作物への被害を防止するため、防護柵などの資材購入費の補助制度を設けています。申請方法など詳しくは、産業振興課農業グループへお問い合わせください。
※設置後の申請はできませんので、必ず設置前に申請してください。



◆動物駆逐用煙火の配布と獣害対策出前講座

サルの追い払い用ロケット花火を配布しています。必要な人は、農業グループへお越しください。また、地域全体で追い払いに取り組まれる場合は、安全講習会を実施した上で、動物駆逐用煙火(T-3)を配布しています。出前講座で実施しますので、自治会や地域まちづくり協議会などで受講者を集めてご利用ください。

地域で取り組むサル対策 ～ 出没しにくい環境づくりに向けて ～

サル対策は、サルに「地域に近づきたくない」と認識させることが大切です。被害を防ぐために、地域全体で協力して対策に取り組みましょう。

「エサ場」をなくそう

自分の土地や他人の土地で、収穫されずに放置された果実などはありませんか？
人が食べない果実(ビワや栗、渋柿など)でも、サルにとってはごちそうになります。収穫しない果実は除去したり、誰も利用していない果樹は伐採したりするなど、サルを引き寄せる原因となる「エサ場」を地域全体でなくしましょう。



隠れる場所をなくそう

エサ場近くに、やぶや茂み、耕作放棄地などの隠れる場所があると、住み着いてしまいます。草刈りや高木の伐採などの整備を行い、サルに「居心地の悪い場所だ」と認識させましょう。



ネットや柵でできる限り囲おう

【サルにも有効な多獣種防護柵】

ワイヤーメッシュの上に、フックを付けて電気線を張ります。サルなどが登ってきても、上部の電気線で感電させて侵入を防ぎます。
また、イノシシやシカなどにも有効で、下部がワイヤーメッシュのため、漏電防止のための草刈りの手間が少なく済みます。



市内での設置事例(加太板屋)

サルを見たら、みんなで追い払おう

サルは警戒心が強く、基本的に人を怖がっています。しかし、サルを見ても放っておくだけでは人に馴れ、市街地に頻繁に出没するようになり、さらには地域への定着にもつながります。
サルを見たら、できるだけ大人数で、可能な限りしつこく追い払いを繰り返し、サルに「人は怖い」と認識させることが重要です。
追い払いには、大声や大きな音を出したり、ロケット花火を使ったりする方法があります。犬を連れて散歩することも効果的です。
自分の土地や他人の土地にかかわらず、サルを見掛けたら追い払うようにしましょう。地域が丸丸となって取り組むことが大切です。

